

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業の進捗について

令和6年(2024年)2月15日
全協資料・民生部保健福祉課

【概要】

飯山市は内閣官房「令和5年度地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」の取組団体に採択され、昨年7月から住民アンケート、NPO等団体アンケート等を実施し、地域の孤独・孤立の状況把握と分析、多様な背景を持つ住民が地域でつながり合える場づくりへの取り組みなどを実施してきた。

この度、本事業の一環として、以下のイベントを計画・実施する運びとなった。なお、年度内に飯山市版の孤独・孤立官民連携プラットフォームを設立する予定。

【経過・予定】

R5.6 「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」の第1次全国9団体のひとつとして採択

R5.7～R6.1

- ・内閣官房の直接委託事業者(株野村総研)との事業打合せを重ねる
- ・府内連携体制を検討、推進(保健福祉課・事業戦略課・子ども育成課など)
- ・市民対象に「人々とのつながりに関するアンケート調査」実施
- ・NPO 法人、各種団体へ孤独・孤立対策の取り組みに関する意向調査実施
- ・「居場所づくり」のための官民連携の取組みの検討
- ・市社協等による子ども食堂の普及推進活動への参加

R6.2 キックオフイベント開催(2/14 なちゅらにて) → チラシ①添付

R6.3 つながり・居場所づくりの取り組みとして、「誰でも食堂」開催(3/2 市公民館にて) → チラシ②添付
飯山市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム設立会議(3/最終週)

【アンケート結果(主なもの)](1500人抽出、643件回収・43.1%) → 添付③

- ①自分が孤独であると直接的に感じている人は32.2%で、うち「常に・しばしば」感じる人は 3.5%、国平均と比べると少ないが、参考とする須坂市(R4)と比べると多い。
- ②「人とのつきあいの無さ、取り残され感、孤立感」など、孤独を間接的に感じている人は 41.0%で、国平均と比べると少ないが、参考とする須坂市(R4)と比べると多い。
- ③孤独を感じている割合が高いのは、「20代男性」が50%、次いで「40代女性」42.1%、「30代女性」39%、「30代男性」と「40代男性」37.5%となっている。孤独感の原因や背景として、「転校・転職・離職・退職」「生活困窮・貧困」「自身や家族の心身状況」「人間関係」などがうかがえる。
- ④世帯構成、外出頻度や移動手段の有無、相談相手の有無などが、孤立状況に影響する可能性がある。
- ⑤悩みや不安が有る方は 55.6%、約9割の方に相談相手が居て、多くは家族・親族である。

【イベント等今後の取り組み】

孤独を感じる方の背景や環境を把握し、地域の中でのつながりや居場所づくりを行政だけでなく地域・民間とも連携し、住民や各種団体との協働で進めたい(誰でも食堂、プラットフォーム設立へ)。

議員各位のご理解ご協力をお願いいたします。

地方版孤独・孤立対策官民連携
プラットフォーム推進事業

みんながつながり支え合う
地域の居場所づくりを目指して

飯山市 孤独・孤立対策推進 キックオフイベント

参加無料

2/14 2024(令和6年)
水 14:00~16:00(開場13:30)

会場/飯山市文化交流館なちゅら 小ホール(飯山市大字飯山1370-1)

めまぐるしく社会状況が変化するなか、人ととの「つながり」が希薄化し、孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化しています。飯山市では、ひとりで悩み、苦しんでいる方に寄り添った支援の実現のために、行政、NPO法人等の団体、企業、ボランティア等が連携・協働し、他人ごとではなく、自分ごととして、孤独・孤立対策に取り組む「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」の立ち上げを進めています。皆さんで孤独・孤立の問題を一緒に考えましょう!

参加対象
申込方法
申込締切

どなたでも参加可能です
メールまたはTEL・FAXでお申し込みください
令和6年2月9日(金)
※当日参加も可能ですが、資料や席が不足する場合がありますので、できるだけ事前にお申し込みください



主催 飯山市

申込先・問合せ先 民生部保健福祉課社会福祉係

電話 0269-67-0727 FAX 0269-62-3127 Eメール : hoken@city.iiyama.nagano.jp

基調講演 講師／パネルディスカッション コーディネーター



大西 連 氏

内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与
NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長
新宿ごはんプラス共同代表

20代前半よりホームレス状態の方、生活困窮された方への相談支援に関わる。
また、生活保護や社会保障削減などの問題について、現場からの声の発信や
政策提言を行う。令和3年6月より内閣官房孤独・孤立対策担当室政策参与に
就任。

プログラム

14:00～ 開会

14:10～ 基調講演「孤独・孤立問題の現状と対策の方向性(仮)」

講師／大西 連氏(内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与、NPO もやい 理事長)

14:45～ 「人々とのつながりに関するアンケート」から見えてきた飯山市の状況

15:00～ パネルディスカッション

パネリスト／常田 徳子氏(飯山市議会議員)

中島 将氏(長野県社会福祉協議会)

常盤井 智行氏(浄土真宗本願寺派 飯山組組長、明徳寺住職)

16:00 閉会

みんながつながり 支え合う 地域の居場所づくりを目指して

～飯山市孤独・孤立対策推進キックオフイベント～ 参加申込書

氏名(フリガナ)							
職種	市民	NPO	社会福祉法人	相談支援職	行政	社協	その他
所属							
連絡先	TEL	／メールアドレス					

FAXでお申し込みの場合は、上欄に必要事項をご記入のうえ、切り取らずこのままFAXしてください(FAX0269-62-3127)



主催 飯山市

申込先・問合せ先 民生部保健福祉課社会福祉係

電話 0269-67-0727 FAX 0269-62-3127 Eメール：hoken@city.iiyama.nagano.jp

参加無料

みんながつながり支え合う 地域の居場所づくりを目指して

だれでも食堂

～こどもも、おとなも、だれでも みんなで楽しく～

どなたでもご参加いただけます!! 小学生低学年以下の子様は保護者同伴でご来場ください。
※申し込みは不要です。※食事は100食限定です。なくなり次第終了となります。※アレルギー対応はしておりません。

3/2 2024(令和6年)
11:00~14:00

会場/飯山市公民館(飯山市大字飯山1436-1)

ボランティア
募集中!

イベント当日のお手伝いを
してください方や食材の提
供など、ご協力いただける方
大歓迎! お気軽にお問い合わせ
ください。

当日は
フードドライブを
行います!

「フードドライブ」とは、家庭で使
用されずに眠っている食料品や
生活用品を、必要とされている方
につなぎ、支え合いの地域づくり
を進めるものです。食品(未開
封、賞味期限内のもの)、精米さ
れているお米などのご提供をお
願いいたします。

めまぐるしく社会状況が変化するなか、人と人との「つながり」が希薄化し、孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化しています。

飯山市では、困りごとを抱え、ひとりで悩んでいる方や、自分の居場所とつながりを探している方々が、声をあげやすい社会づくりを目指し、行政、NPO法人等の団体、企業等が連携・協働し、他人ごとではなく、自分ごととして取り組む「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」の立ち上げを進めています。

飯山市孤独・孤立対策官民連携プラットフォームにご参画いただける団体・個人の方を募集しておりますので、みなさまのご参画をお待ちしております。

主催
お問合せ先

飯山市 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

飯山市民生部保健福祉課社会福祉係

電話 0269-67-0727 FAX 0269-62-3127 Eメール: hoken@city.iiyama.nagano.jp



飯山市 人々のつながりに関する アンケート調査報告 (速報版)

要點

2024年2月

要點

目次

1. 調査概要

2. 回答者の属性

3. 調査結果の詳細

- (1) 孤独の状況
- (2) 孤立の状況

4. まとめ

1. 調査概要

1. 調査概要

①調査の実施概要

- 調査対象者：市内在住の18歳以上の1,500人
- 調査期間：2023年12月7日（木）～2023年12月29日（金）
- 調査方法：郵送による配布。回答の回収は郵送とWebアンケートの併用
- 回収状況：643件（うちWeb回答 116件）、なお不達は7件
- 有効回収率：43.1%

② 調査事項

(1) 孤独に関する事項

- 孤独感（UCLA孤独感尺度・直接質問）、継続期間、これまでに経験・孤独感に強く影響を与えたライフイベント（家族との離別・死別、人間関係の重大なトラブル等）

(2) 孤立に関する事項

- 外出頻度（春から秋、冬）、外出目的、行動範囲、移動手段の有無、社会的交流（家族・友人とのコミュニケーション手段や頻度）、活動への参加状況

(3) その他関連事項

- 困った時に頼れる人や不安や悩みが生じた場合の相談相手の有無、専門の相談機関の認知度、不安や悩みを相談する際の感情、困った時に相談しやすくなるための方法、日常生活における悩みの状況、まわりの人からの手助け、まわりのひとへの手助け、心身の健康状態、生活満足度、飯山市での生活における良い点や良くないと思う点

(4) 属性事項

- 年齢、性別、居住地区、出身地、飯山市での居住年数、婚姻状況、世帯状況、同居人の有無・数、学歴、就業状態、居住形態、経済的な暮らし向き

※有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しているため、単数回答であっても合計が100.0%にならない場合がある。

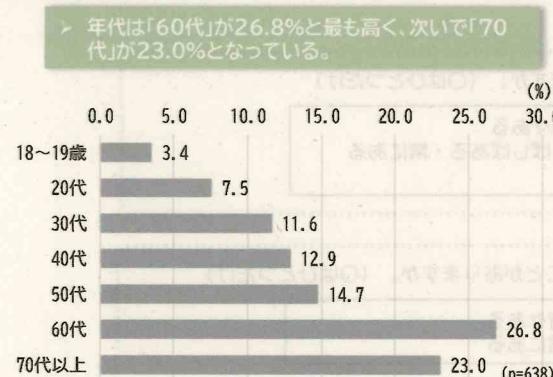
2. 回答者の属性

総括の結果検査結果 年代別分析(1)

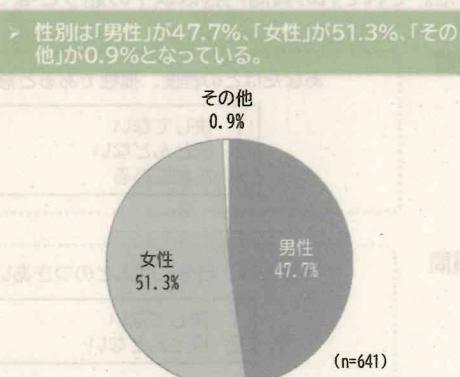
4

2. 回答者属性

①年代分布



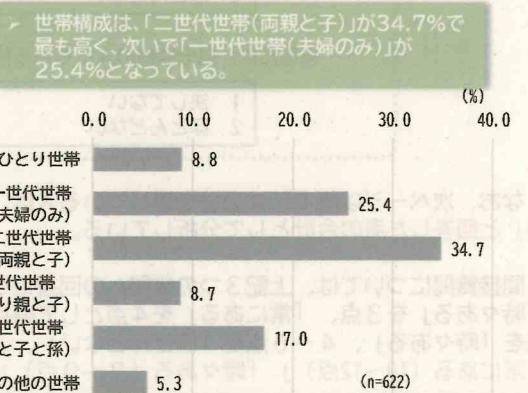
②性別



③居住地区



④世帯構成



5

3. 調査結果の詳細

(1) 孤独の状況

6

本調査における孤独感の把握方法

孤独という主観的な感情をより的確に把握するため、本調査では、①直接質問と②間接質問の2種類の質問により孤独感を把握した。それぞれの質問内容は以下の通りとなっている。

①直接質問

あなたはどの程度、孤独であると感じことがありますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------|---------------|
| 1 決していない | 4 時々ある |
| 2 ほとんどない | 5 しばしばある・常にある |
| 3 たまにある | |

②間接質問

あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じことがありますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------|--------|
| 1 決していない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

あなたは、自分は取り残されていると感じことがありますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------|--------|
| 1 決していない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じことがありますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------|--------|
| 1 決していない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

なお、次ページ以降で示す孤独を感じている人は、直接質問では「しばしばある・常にある」「時々ある」「たまにある」と回答した者の合計として分析している。

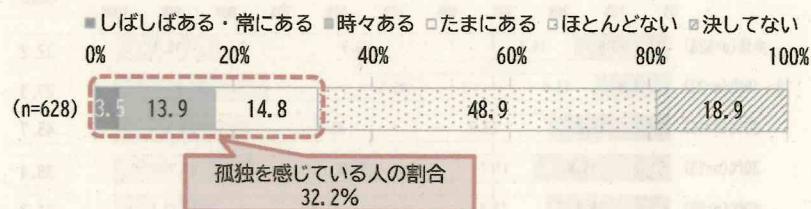
間接質問については、上記3つの質問への回答について、それぞれ、「決していない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点として得点化し、その合計得点について、10~12点を「常にある」、7~9点を「時々ある」、4~6点を「ほとんどない」、3点を「決していない」の4区分に分けて処理をした。そのなかで、「常にある（10~12点）」「時々ある（7~9点）」と回答した者の合計を孤独を感じている人として分析している。

7

①孤独を感じている割合とその状況

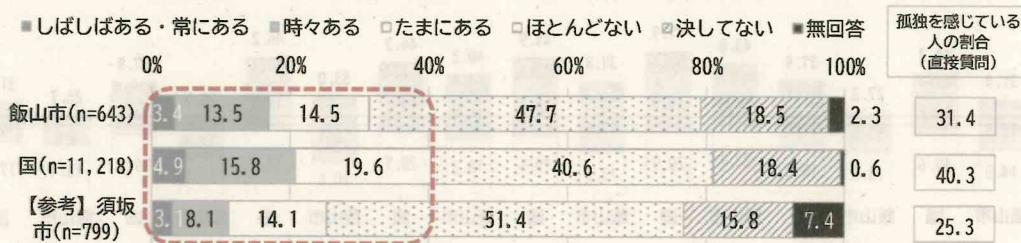
①-1 孤独を感じている人の割合(直接質問)

- 孤独を感じている人は32.2%で、そのうち、「しばしば・常にある」の割合は3.5%である。



■国、近隣自治体(須坂市)との比較

- 国との比較では、孤独を感じている人の割合は8.9ポイント低くなっている。
➢ なお、近隣自治体である須坂市との比較では、本市の方が孤独を感じている人の割合は6.1ポイント高い。

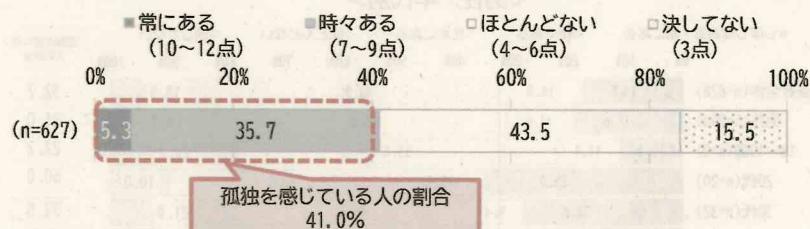


※国の集計と合わせるために、無回答を含んだ割合としている

8

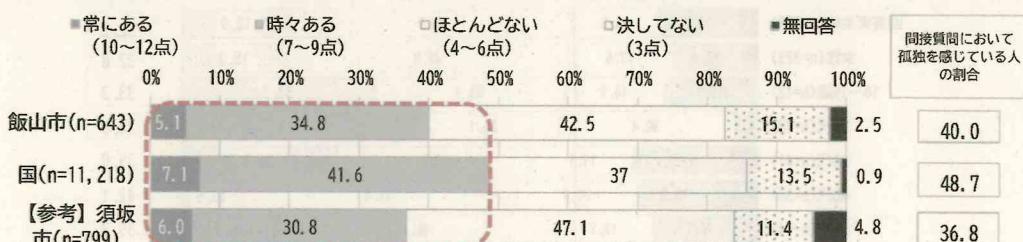
①-2 孤独を感じている人の割合(間接質問)

- 孤独を感じている人は41.0%で、そのうち、「常にある(10~12点)」は5.3%となっている。



■国、近隣自治体(須坂市)との比較

- 国との比較では、孤独得点が高い者(7点以上)の割合が8.7ポイント低くなっている。
➢ なお、近隣自治体である須坂市との比較では、本市の方が孤独得点が高い者(7点以上)の割合は3.2ポイント高くなっている。



※国の集計と合わせるために、無回答を含んだ割合としている

9

②年代別孤独を感じている割合（直接質問）とその状況

②-1年代別

- 年代別に孤独を感じる人の割合をみると、20代において45.7%と、全体よりも13.5ポイント高くなっている。
- また、30・40代においても全体よりも5ポイント以上高くなっている。
- 一方、60代においては孤独を感じる割合は5.7ポイント、全体よりも低い。



■国との比較(年代別)

- どの年代も、国より孤独を感じている割合は低い。
- 特に50代は国よりも13.2ポイント低くなっている。最も差がみられる。



10

②-2性別・年代別

- 性別、年代別に孤独を感じる割合をみると、男性では、20代において50.0%と最も高く、男性の全体と比べて19.0ポイント高くなっている。
- 女性では、40代が42.1%で女性全体よりも9.3ポイント高く、30代でも5ポイント以上高くなっている。

<男性／年代別>



<女性／年代別>



11

③孤独の継続期間

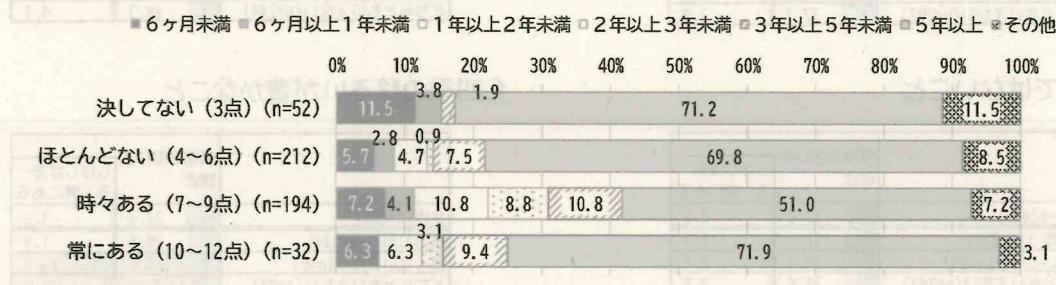
a.孤独感の継続期間(直接質問)

- 孤独感の継続期間は、「しばしば・常にある」において、「5年以上」が54.5%と半数以上を占めている。



b.孤独感の継続期間(間接質問)

- 孤独感の継続期間は、「常にある(10~12点)」において、「5年以上」が71.9%で孤独を感じている期間が長い者が多い。



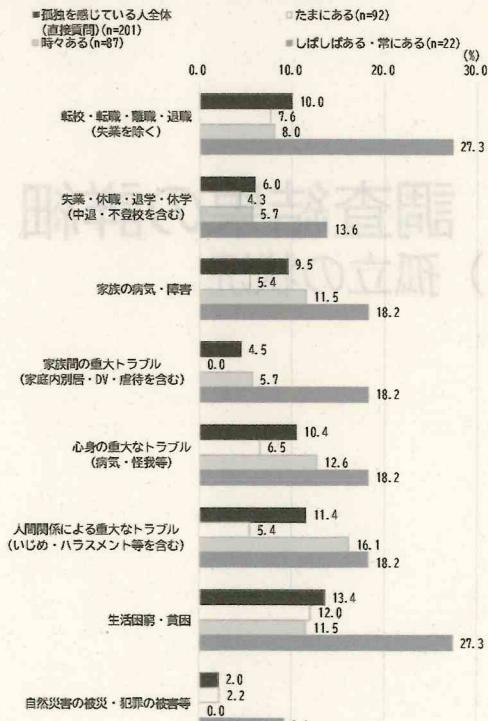
④孤独感に強く影響を与えたと思われる出来事(複数回答)

- 回答者全体における孤独感に強く影響を与えたと思われる出来事として、「一人暮らし」が12.4%と最も高く、次いで「家族との死別」が9.2%と高い。
孤独を感じる人の中では、「しばしばある・常にある」者において「転校・転職・離職・退職(失業を除く)」や「生活困窮・貧困」の割合が高い。

a.回答者全体



b.孤独を感じる人(直接質問)



⑤飯山市での生活について

回答者全体の孤独を感じる割合と比較し、『地域・社会とのつながりが深いこと』『近所の人と顔の見える関係性が築きやすいこと』『市内で生活が完結できること』『四季の移ろいが豊かなこと』について良いと思わない、どちらともいえないとする者で孤独を感じる割合が高い。

a.地域・社会とのつながりが深いこと

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
良いと思う(n=262)	23.3	1.5
良くないと思う(n=44)	61.4	13.6
どちらともいえない(n=296)	36.1	3.7

b.近所の人と顔の見える関係性が築きやすいこと

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
良いと思う(n=345)	24.3	1.7
良くないと思う(n=40)	62.5	17.5
どちらともいえない(n=225)	39.1	3.6

c.市内で生活が完結できること (買い物、病院、学校、仕事、娯楽など)

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
良いと思う(n=252)	28.6	1.6
良くないと思う(n=155)	39.4	8.4
どちらともいえない(n=202)	32.7	2.0

d.人が少なくて静かなこと

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
良いと思う(n=231)	35.9	2.6
良くないと思う(n=133)	34.6	3.8
どちらともいえない(n=244)	28.3	4.1

e.都会的ではないこと

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
良いと思う(n=276)	32.2	2.9
良くないと思う(n=88)	36.4	6.8
どちらともいえない(n=247)	31.6	2.8

f.四季の移ろいが豊かなこと

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
良いと思う(n=530)	29.6	1.9
良くないと思う(n=5)	60.0	60.0
どちらともいえない(n=79)	48.1	10.1

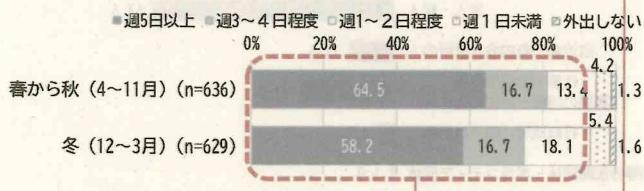
※セルの色が赤くなっている項目は、全体の割合よりも5ポイント以上高いことを示している

3. 調査結果の詳細 (2) 孤立の状況

①外出の状況

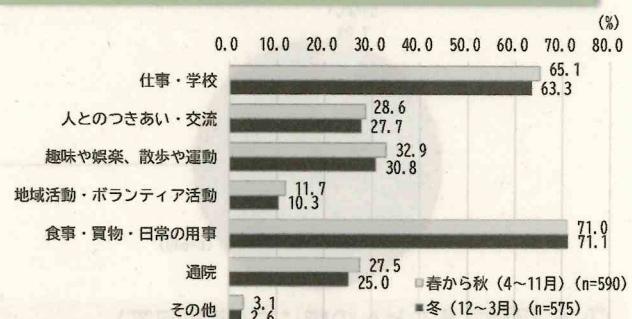
①-1 外出頻度

- 外出する割合をみると、季節を問わず週1回以上外出している割合は9割以上であるが、週1回未満の外出の割合は、春から秋では5.5%、冬では7.0%みられる。



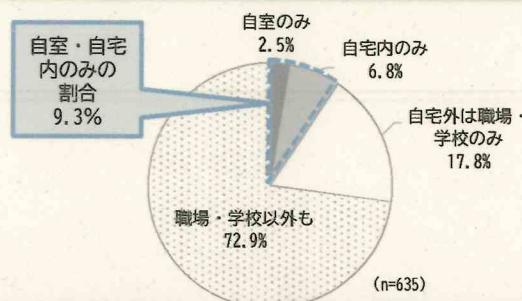
①-2 週1回以上外出している者の外出目的(複数回答)

- 週1回以上外出する者の外出目的は、季節問わず、「食事・買物・日常の用事」が約7割と高く、次いで「学校・仕事」となっている。



①-3 最近1週間の行動範囲

- 最近1週間の行動範囲が「自室のみ」または「自宅内のみ」の割合は9.3%となっている。
- 残りの90.3%は自宅外への移動がみられる。そのうち「自宅外は職場・学校のみ」とする割合は、17.8%となっている。

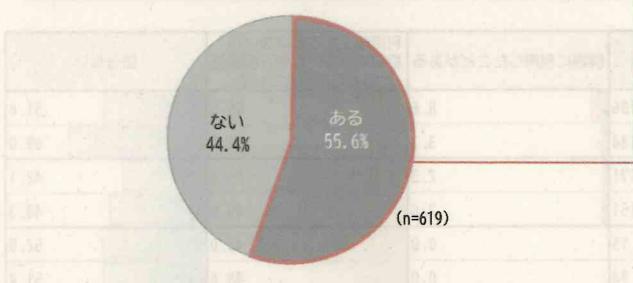


16

②悩みや不安、相談の状況

②-1 日常生活の不安や悩みの有無

- 日常生活の不安や悩みがある割合は、55.6%と半数以上となっている。



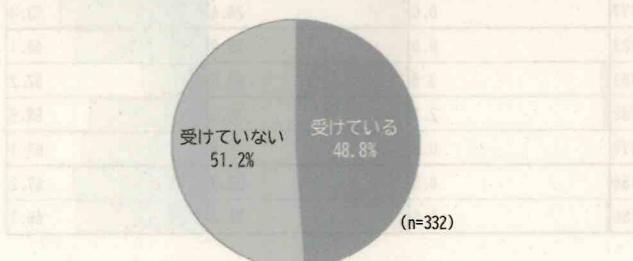
②-2 不安や悩みの内容(複数回答)

- 日常生活の不安や悩みとして、「収入や資産、老後の生活設計」が60.6%と最も高く、次いで「健康」が53.5%となっている。



②-3 周囲の人から解決のための手助けを受けているか

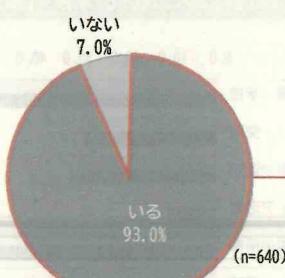
- 周囲の人から問題解決のための手助けを受けている割合は、48.8%、受けていない割合は51.2%で、半数以上は周囲からの手助けを受けていない。



17

②-4 相談相手の有無

相談相手がない者は、わずか7.0%である。



②-5 相談先(複数回答)

相談相手がいる者の相談先は、「家族・親族」が92.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が63.6%となっている。



②-6 相談することへの感じ方(複数回答)

相談することについては、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」と感じる者が67.8%と最も高くなっている。
一方で「相談しても無駄である(相談しても解決しない)」と思う者も13.2%みられる。



③孤独を感じている人の専門相談機関の利用・認知状況

③-1 孤独を感じている人(直接質問)の専門相談機関の利用・認知状況

孤独を感じている人において、「知らない」と回答する割合が高いのは、「⑬女性のみなさんが利用できる相談(女性電話相談)」が73.4%で最も高く、次いで「⑨生活に不安を抱えている方の就労や家計のやりくりに関する相談(まいさぽ飯山)」が69.0%、「⑯弁護士による女性・人権・家庭・行政・法律などに関する相談(飯山市社会福祉協議会)」が67.2%と高くなっている。

		n	実際に利用したことがある	利用をしたことはないが、相談できることや、相談先の名前は知っている	知らない
(1) こころやからだ	①保健福祉課(保健師や栄養士への相談)	186	8.6	39.8	51.6
	②心HOT相談会	184	3.3	27.7	69.0
(2) 学校生活	③いじめ電話相談	171	2.3	55.6	42.1
	④家庭児童相談室	151	2.6	49.0	48.3
(3) 児童虐待	⑤家庭児童相談室	75	0.0	48.0	52.0
	⑥児童相談所虐待対応ダイヤル	74	0.0	48.6	51.4
(4) 妊娠・出産・子育て	⑦子育て世代包括支援センターあいえーる	171	3.5	33.9	62.6
(5) 高齢者介護・高齢者虐待	⑧地域包括支援センター	188	10.1	47.9	42.0
(6) 就労・就職・生活支援	⑨まいさぽ飯山	184	4.3	26.6	69.0
	⑩保健福祉課(生活保護に関する相談)	177	1.1	56.5	42.4
(7) 人権	⑪法務局飯山支局	182	0.5	31.9	67.6
	⑫いいやま人権福祉センター	179	0.6	33.5	65.9
	⑬女性電話相談	177	0.0	26.6	73.4
(8) 権利擁護	⑭地域包括支援センター	183	0.0	33.9	66.1
(9) 生活のラブル	⑮消費生活センター	183	3.8	63.9	32.2
	⑯飯山市社会福祉協議会	182	2.7	38.5	58.8
(10) 結婚	⑰いいやま出会いサポートセンター	177	0.0	37.9	62.1
(11) あらゆる悩み	⑱飯山市社会福祉協議会	186	0.5	32.3	67.2
	⑲保健福祉課(総合窓口相談員による各種相談)	186	1.6	32.3	66.1

③-2 【孤独を感じない人との比較】

孤独を感じている人(直接質問)の専門相談機関の利用・認知状況

- 孤独を感じている人における各専門相談機関の認知度(「実際に利用したことがある」「利用をしたことはないが、相談できることや、相談先の名前は知っている」の割合の合計)は、すべての専門相談機関において、孤独を感じない人に比べて低い。
- 孤独を感じない人との比較で特に差がみられるのは、「①保健師や栄養士への相談(保健福祉課)」で17.1ポイントで最も高く、次いで「⑫人権に関する相談(いいやま人権福祉センター)」で11.8ポイントとなっている。

		n	孤独を感じない人の認知度	n	孤独を感じる人の認知度
(1) こころやからだ	①保健福祉課(保健師や栄養士への相談)	397	65.5	186	48.4
	②心HOT相談会	389	44.0	184	31.0
(2) 学校生活	③いじめ電話相談	369	66.9	171	57.9
	④家庭児童相談室	367	62.1	151	51.7
(3) 児童虐待	⑤家庭児童相談室	368	61.1	75	48.0
	⑥児童相談所虐待対応ダイヤル	366	59.6	74	48.6
(4) 妊娠・出産・子育て	⑦子育て世代包括支援センターあいえーる	365	42.5	171	37.4
(5) 高齢者介護・高齢者虐待	⑧地域包括支援センター	394	66.0	188	58.0
(6) 就労・就職・生活支援	⑨まいさぽ飯山	390	33.1	184	31.0
	⑩保健福祉課(生活保護に関する相談)	388	69.3	177	57.6
(7) 人権	⑪法務局飯山支局	393	44.0	182	32.4
	⑫いいやま人権福祉センター	390	45.9	179	34.1
	⑬女性電話相談	384	30.2	177	26.6
(8) 権利擁護	⑭地域包括支援センター	393	37.7	183	33.9
(9) 生活のトラブル	⑮消費生活センター	395	73.4	183	67.8
	⑯飯山市社会福祉協議会	393	50.1	182	41.2
(10) 結婚	⑰いいやま出会いサポートセンター	386	47.7	177	37.9
(11) あらゆる悩み	⑱飯山市社会福祉協議会	393	42.0	186	32.8
	⑲保健福祉課(総合窓口相談員による各種相談)	390	42.3	186	33.9

20

4. まとめ

専門相談機関	認知度	専門相談機関	認知度
保健福祉課	65.5%	心HOT相談会	44.0%
家庭児童相談室	62.1%	保健福祉課(生活保護に関する相談)	57.6%
家庭児童相談室	61.1%	保健福祉課(総合窓口相談員による各種相談)	33.9%
児童相談所虐待対応ダイヤル	59.6%	いいやま人権福祉センター	34.1%
子育て世代包括支援センターあいえーる	42.5%	女性電話相談	26.6%
地域包括支援センター	66.0%	地域包括支援センター	33.9%
まいさぽ飯山	33.1%	法務局飯山支局	32.4%
保健福祉課(生活保護に関する相談)	69.3%	いいやま人権福祉センター	34.1%
保健福祉課(総合窓口相談員による各種相談)	42.3%	女性電話相談	26.6%
保健福祉課(総合窓口相談員による各種相談)	42.3%	地域包括支援センター	33.9%
いいやま出会いサポートセンター	47.7%	法務局飯山支局	32.4%
いいやま出会いサポートセンター	47.7%	いいやま出会いサポートセンター	37.9%
飯山市社会福祉協議会	50.1%	保健福祉課(総合窓口相談員による各種相談)	33.9%
飯山市社会福祉協議会	50.1%	保健福祉課(総合窓口相談員による各種相談)	33.9%
保健師や栄養士への相談	65.5%	保健師や栄養士への相談	48.4%
心HOT相談会	44.0%	心HOT相談会	31.0%
保健師や栄養士への相談	48.4%	保健師や栄養士への相談	31.0%

21

孤独を感じている人（直接質問）の傾向

①年代別(再掲)

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
18~19歳(n=22)	27.3	0.0
20代(n=46)	45.7	6.5
30代(n=73)	38.4	6.8
40代(n=80)	41.1	6.3
50代(n=94)	33.0	4.3
60代(n=168)	26.2	1.8
70代(n=141)	27.7	1.4
80代以上(n=1)	0.0	0.0

②同居家族の有無別

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
いる(n=552)	29.3	3.4
いない(n=55)	58.2	5.5

④外出頻度(冬)

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
週1回以上(n=575)	31.7	3.5
週1回未満(n=42)	38.1	2.4

⑤いつでも好きな時に自由に移動できる手段の有無

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
ある(n=581)	31.2	3.3
ない(n=39)	48.7	7.7

③居住地区別

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
飯山(n=215)	31.6	3.7
秋津(n=60)	38.3	3.3
木島(n=86)	29.1	5.8
瑞穂(n=52)	32.7	1.9
柳原(n=24)	20.8	0.0
外様(n=25)	24.0	0.0
常盤(n=72)	41.7	5.6
太田(n=59)	27.1	0.0
岡山(n=29)	34.5	6.9

※セルの色が赤くなっている項目は、全体の割合よりも5ポイント以上高いことを示している

孤独を感じている人（直接質問）の傾向

⑥健康状態

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
よい(n=221)	16.3	0.5
ふつう(n=316)	33.2	1.9
よくない(n=88)	68.2	17.0

⑦経済的な暮らし(ゆとりの有無)別

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
ある(n=77)	19.5	0.0
普通(n=276)	24.6	1.8
なし(n=275)	43.3	6.2

⑧生活への満足度

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
満足(n=376)	18.4	1.1
どちらともいえない(n=141)	48.9	3.5
不満(n=107)	58.9	11.2

⑨相談相手の有無

	孤独を感じる割合	しばしばある・常にある
全体(n=628)	32.2	3.5
いる(n=584)	29.8	2.6
いない(n=44)	63.6	15.9

※セルの色が赤くなっている項目は、全体の割合よりも5ポイント以上高いことを示している